

いのちまもる

キャラバン行動ニュース

第6号

2014年9月17日

日本医労連

TEL : 03-3875-5871

FAX : 03-3875-6270

日本看護協会と懇談



9月17日、日本医労連は看護協会を訪問し、坂本すが会長をはじめ4人の皆さんと懇談しました。

日本医労連側からは、中野千香子中央執行委員長と森田しのぶ副委員長、鎌倉幸孝副委員長、三浦宜子書記長、森田進書記次長と煙崎中執の6名が参加しました。最初に中野委員長から、委員長就任と新役員の紹介、その後三浦書記長から日本医労連のILO訪問についての報告と、日本医労連の「目指すべき看護体制の提言」について資料を示しながら説明をし、11月に日本医労連が予定しているオーストラリアへの海外視察についてなど今後の運動の方向について話をしました。

看護協会側からは、「看護職の夜勤・交替制勤務に関するガイドライン」について、その後の評価を取りまとめていることや、高齢の看護師の夜勤問題について検討していること、そして重点課題として①はたらき方（特に訪問看護）②労働問題で動いていると話がされました。日本医労連が提供した資料の中で「高校教員と看護師の賃金格差」についてその実態に問題を示し、看護実態調査結果の「ハラスメント」について詳しい資料提供を依頼されました。1時間の懇談の中で、夜勤や労働時間の問題、制度問題など多くの問題で共通認識を持ち、各々の立場で改善に向けての取り組みをすることが確認されました。

愛知県議会「看護師増員」意見書採択

7月7日、愛知県議会で「看護職員の確保対策の充実について」の意見書が可決され衆参両院議長及び内閣総理大臣始め厚生労働大臣に提出されました。

愛知県の意見書は、愛知県医労連の意見書内容ではないことは残念ですが、県医労連の県議会会派回りが功を奏し、愛知県が看護職員の勤務環境の厳しさを認め、勤務体制を整備し、勤務環境の抜本的な改善策を国に求めていることは画期的です。【愛知県医労連 14 春闘速報 6】